



学校だより

令和元年9月2日
練馬区立北町西小学校
校長 吉川 文章
第678号

全ての教育活動にユニバーサルデザインを取り入れていく

校長 吉川文章

本年度は、来年4月から完全実施される新学習指導要領の移行措置期間であることを何度かお伝えしているところですし、日本の教育の大きな転換点とも言われています。そこで今回は、新学習指導要領と、本校が学校経営の中核に据える特別支援教育との関連についてお伝えします。

新学習指導要領では、「特別支援教育の視点を通常の授業の中にも取り入れていく必要がある」と明確に示されました。つまり、これからの特別支援教育は、ある特定の子に対してではなく、ふだんの授業の中で展開をしていかななくてはならないということです。まさに、本校が以前から唱えている「全ての児童の発達に照らし合わせた指導」が国の方向性と合致していることがわかります。では、具体的にどのような取り組みが求められるのでしょうか。文部科学省は、手法の一つとして「ユニバーサルデザイン型の授業」を示しています。

「ユニバーサルデザイン型の授業」もしくは「授業のユニバーサルデザイン化」という教育用語が最近よく使われるようになりました。耳にされた方も少なくないのではないでしょうか。実は、本校は、その手法を齊一的に取り入れようと来年度に向けて計画をしています。では、「ユニバーサルデザイン型の授業」とはどのようなものなのでしょうか。この手法を先進的に進める学校では、「焦点化」「視覚化」「共有化」を授業に取り入れることを重要と考えています。

- ・焦点化とは・・・ねらいや活動を絞ることです。
- ・視覚化とは・・・視覚的な理解を重視した授業にすることです。
- ・共有化とは・・・一人の考えの良さが他の子どもたちに伝わるようにすることです。

本校では、先進校の授業実践をならい「授業のユニバーサルデザイン化」をめざします。また、来年度から完全実施される学習指導要領にあわせて本校独自の手法も取り入れながら「ハード面」「ソフト面」での「ユニバーサルデザイン化」を以下のように重点的に進めてまいります。

「ハード面のユニバーサルデザイン」

○ 教室のすっきり化、わかりやすい化

月の目標、時間割などの掲示物を教室の横や後ろに貼り黒板周りの情報を最低限にします。児童は、黒板のみに着目することができ集中力が高まるという研究成果が報告されています。

○視覚化・焦点化に基づく板書などの工夫

45分の授業の山場がわかる黒板への「めあて」の設定を工夫します。指示は簡潔、具体的にします。発達の特性に基づき、ICTや視覚的な工夫を行い授業の流れを明確にします。

「ソフト面のユニバーサルデザイン」

○教師の児童に対する発達や心根への肯定的な寄り添い

児童の発達の特性凹凸をプラスにとらえスター（才能開発）の理念に基づき秀でている能力を伸ばすよう心がけます。児童を「学級・学校の宝」にしていくことをめざします。全ての児童に対し人権に満ち溢れた関わりをし、児童の指導に関して人権に満ち溢れた会話をします。

問題行動が起こったときに、「わたしたちの指導力を伸ばす絶好のチャンスが生まれた」と前向きにとらえて児童や保護者に正対し共に手を携えます。

○大人が率先するおもてなしの心の醸成

職員が率先垂範し挨拶やお辞儀、会釈をすることで、日本人としてのおもてなしの心のモデルを示し、児童の挨拶、礼儀作法の輪をさらに広げていきます。

職員が身だしなみを整えたり電話対応等の接遇を向上させたりすることで学校への信頼感をさらに高めます。学校への信頼感の高まりを児童の変容に結びつけます。

「ユニバーサルデザイン」の取り組みについては、これからも随時発信をしてまいります

特別支援教育コーナー

～ ギフテッド教育を推進する先進校に学ぶ～

特別支援教育コーディネーター 校長

NPO 法人翔和学園学園長 伊藤寛晃先生を講師としてお迎えし、「通常の学級における特別支援教育の視点を生かした具体的な指導法」というテーマのもと、児童理解や指導・支援方法についてご指導いただきました。翔和学園は、発達に特性のある子供の才能を開発し、就労まで視野に入れた「ギフテッド教育」を目指すこれからの国の特別支援教育をリードする先進校です。以下は研修で学んだことの一部です。

「指示は簡潔に “一時一事の原則” 」

「教科書の37ページを開きます」

シンプルな一つの指示に思えますが、その中には、「教科書を出す」「37ページを探す」「ページを開く」という3つの指示がある。教師は一つの指示をしたつもりであっても、子供の視点に立って活動の数をかぞえてみると、複数の活動が含まれていることが分かります。まず、たった一つの明確な指示を与えること。それを子供たち全員ができたのかを確かめてから、第二の明確な指示を与えること。日々、教師が発する「言葉」について、たいへん考えさせられました。

「発達の特性に合わせた指導を」

「発達障害という言葉ではなく発達の凸凹という表現の方がふさわしい」

特別支援教育は、これまで発達の凸凹をもつ子供たちの谷の部分(凹)ばかり注目されてきました。伊藤先生は、「誰もが才能を有している」とおっしゃいます。これは、本校のSTER「才能開発ルーム」の理念に通ずるものです。通常の学級担任全てが、STERの理念を共有し、一斉授業の中で、彼らの可能性を引き出そうとすることが大切であると改めて教えていただきました。

「環境はシンプル、教師の人権に満ち溢れた会話」

黒板周りをすっきりさせ、教室をきれいに機能的にするなどの環境作りが大切であると学びました。そのためには、教師自身の仕事をきれいにすることは大前提であるにご指導いただきました。教師自身が人権に満ち溢れた子供についての会話をすることは特に重要であることを学びました。

心のふれあい相談室

心のふれあい相談員

相談室は、保護者の方と共に、子どもたちの健やかな成長を応援しています。

心配なことや、困ったことがあったとき、話をきかせてもらい気持ちを受け止めることで、子どもたちがのびのびと毎日を過ごしていくことができるように、お手伝いをしたいと思っています・

<開室について>

・開室日…月曜日・火曜日・木曜日・金曜日

※ 予定が変更になることもあります。

・児童の皆さん…中休み・昼休み

・保護者の皆様…中休み・昼休み以外

(担任や教職員を通してお申し込みいただくか、お電話でお申し込みください。)

連合水泳記録会

体育主任

9月5日（木）に、連合水泳記録会が実施されます。今年度は、田柄第二小学校を会場とし、早宮小学校、田柄第二小学校、北町西小学校の3校が集い記録会を実施します。記録会の目的は以下二点です。

- ① 児童一人一人が、6年間努力した自分の泳力を、記録会を通して確認し、充実感を味わう
- ② 近隣校の6年生が集い、他校と交流し親睦を深める

夏季水泳で多くの6年生が練習を重ねてきました。勝敗ではなく、自身の記録更新を目指し、小学校生活最後の水泳に取り組んで参ります。

6年下田移動教室

第6学年 学年主任

3泊4日で行われる6年生の移動教室は、本校の子供たちにとって小学校生活で最大のイベントと言っても過言ではありません。「みんなと一緒に生活する4日間、どんな楽しいことがあるだろう」そんな期待を胸に、毎年、6年生達が学習の集大成の場として、移動教室を経験していきます。

今年度のテーマは「私たちが小学校で学んできた様々な教科の知識や、集団での生活、ルールなどは、どのように活用することができるか、例を挙げながら説明しなさい。」です。国算社理の4科の他、道徳や学校のきまりなどで身に付けてきた内容が、実生活でどのように生かされているのかを分析し、3日めの中間発表会と、帰校後の本発表会でプレゼンテーションを行います。

例えば、「明日は晴れるだろうか？」という疑問は、5年理科「天気の変化」と3年社会「方角」の知識を活用して答えを出すことができます。予算内でスムーズにお土産を買う時に、算数の暗算力が実生活で生きている事を実感します。「相手の悪口を言うてはいけません」というきまりも、「そうか。そこを守らなければ移動教室も集団生活も成り立たない、自分も相手も幸せになれない。」と、わかるようになっていきます。楽しい思い出を作りながら、小学校での学びを終える者としてふさわしい力を身に付ける移動教室は、中身の濃い最高の学びの場です。

5年武石移動教室

第5学年学級担任

「**集団行動を通し、積極的に体験活動に参加し自身の成長につなげる！**」というテーマのもと、小学校生活初めての移動教室を行いました。学期末で忙しい中で、「**全ては自分自身の成長のために**」何が必要であるか、どう行動すべきかを主体的に考えるきっかけとなりました。事前学習では、しおりを2部構成にし、係活動のしおりでは、生活班、行動班での一人一人の思いや決意が表れ、楽しさも含め、学ぼうという姿勢がそこにはありました。行程の中では、集合時間は完璧で、10分前行動5分前集合が確実でした。また、班長会議では、反省をどう生かすか建設的な意見もあり、自分たちからどうなりたいたいのか考え、翌日すぐに行動に移せる姿は頼もしく感じました。**6年生を支える立場として、これからの学校生活においてこの移動教室での学びを最大限に活用してほしい**と願っています。

9月の行事予定

2日	月	始業式 午前授業
3日	火	給食始 保護者会(1,2,3年)14:45～
4日	水	保護者会(4,5,6年)14:20～
5日	木	連合水泳記録会 6年生以外午前授業短縮時程
6日	金	ダスキン出前授業(6年)連合水泳記録会予備日 午前授業短縮時程
9日	月	プール納め 発育測定(1年) あいさつ運動(13日まで) 教育実習始め(5年1組) たてわり遊び
10日	火	発育測定(2年)
11日	水	発育測定(3年) 学習補充教室 ※学年によって下校時刻が異なります。
12日	木	体育朝会ギネス 発育測定(4年) 北町ギネス始(～12月6日)
13日	金	発育測定(5年) 委員会活動 大東文化大学学生現場体験学習
14日	土	学校公開日 避難訓練区一斉(引き渡し訓練) 親子情報モラル(6年) 震災総合訓練
17日	火	ユニセフ朝会 発育測定(6年) 研究授業(4年2組)
18日	水	ユニセフ募金始
19日	木	リンゴの会読み聞かせ(1～3年)
20日	金	体育朝会 ユニセフ募金終 クラブ活動 体力向上旬間始
24日	火	遠足(4年) 中学校英語授業(6年)
25日	水	学習補充教室
26日	木	図書委員会発表集会
27日	金	北西まつり(123時間目) 学力グランプリ(5,6年希望者)
30日	月	全校朝会
10月1日	火	都民の日 ※児童休業日

〈スクールカウンセラー 来校予定〉

9月5日(木) 12日(木) 19日(木) 26日(木)

※詳細は副校長にお問い合わせください。TEL 3932-7234